

おひさま通信

2007年6月号 Vol.6



< 飯田市美術博物館の安富桜 >

「南信州おひさまファンド」へのご出資を通じて、おひさま発電所をご支援いただきありがとうございます。本号では、2007年度の事業報告を補足して、事業にかかわる様々な情報をお知らせいたします。どうぞよろしくお願いいたします。

< 目次 >

まほろば事業後の活動について

関係者インタビュー

出資者ツアーの案内

2007年6月

おひさま進歩エネルギー有限公司

長野県飯田市本町2-15 いとうや3階

電話：0265-56-3711 FAX：0265-56-3712



< おひさま発電所のマスコットキャラクター「さんぼちゃん」は、一歩二歩三歩と着実に歩みます >



まほろば事業後のおひさま進歩エネルギー

飯田市で採択された環境省の「まほろば事業」を実施するため、地域密着型のエネルギー事業会社としてスタートしたおひさま進歩エネルギー株式会社ですが、昨年度いっぱい当初の計画通り「まほろば事業」を無事完了させることができました。事業の遂行に当っては飯田市役所の皆さんや地元業者の皆さん、そして市民出資でサポートしていただいた多くの市民の方々に心から感謝しております。



幼稚園でのパネルシアター

事業の大きな柱として太陽光事業、エスコ事業の2本がありましたが、それ以外にも、会社の母体となったNPO法人南信州おひさま進歩とともに、数々の事業展開をすることができました。その一つのバイオマス事業では、昨年度に経済産業省の補助事業であるグリーンサービサイジング事業を通して温室農家へのペレットボイラーの実験的導入を行いました。普及啓発のための幼児環境教育パネルシアターも30箇所以上で行い、年度末には昨年に引き続き、自然エネルギーで起業を志す方々を支援する自然エネルギー・省エネルギー起業講座を行うなど、さまざまな実績を積むことができました。さらに昨年度からは環境省のメガワットソーラー事業の採択を受け、南信州地域に3年間で1000kW、まほろば事業の約5倍の太陽光発電設備の設置を目指して事業を進めております。初年度である昨年度は、44箇所に365kWの設備を完成させることができました。

おかげさまでこの取り組みも取材や視察を通し、多くの方々に知っていただき、共感していただき、大変ありがたいことと思っております。今後とも太陽光発電事業、省エネ事業、バイオマス事業を柱に、地域に根ざした自然エネルギー・省エネルギーの利用促進を続けて参りたいと思っております。



まほろば事業インタビュー

市民出資の対象である事業が無事ひと段落し、環境事業での実績から飯田市周辺においておひさま進歩の存在感が日々高まっています。この3年間の事業を通して、おひさま進歩はこの地域にどんな影響を与えたのか、関係者の方々からお話を聞きました。

環境省からまほろば事業を直接受けた、飯田市環境協議会の会長今村良子さんと協議会事務局をされていた元飯田市環境課池戸さん（現在は飯田市民病院勤務）のお話です。

飯田市環境協議会 会長 今村良子さん

3年間のまほろば事業を終えてみての感想は？

まずはNPO南信州おひさま進歩さんが事業を受けてくれたことに本当に感謝しております。協議会の参加団体の中においてまほろば事業を一番推進してくれる存在だったので、協議会としてとても助かりました。この事業はおひさま進歩さんのお陰で成功したと言っても良いぐらいの活躍をしたと思っております。

地域協議会の代表理事という立場から見たおひさま進歩エネルギーの成長をどう思いますか？

最初はNPOだけでどうやって事業をしていくのか大変だと思っていましたが、まほろば事業をとoshiteこれだけの事業を受けたことが進歩につながったのだと思います。事業を引き受け、会社設立を決意



今村さん 起業セミナーにて

していただいた原さんには、大変なご苦労があったと思います。今こうしておひさま進歩エネルギー有限会社の事業が軌道に乗り始め、良かったと思っています。

また行政・協議会が一丸となって協力できたことと、全国の出資者のみなさまから応援していただいたことは感謝しなければならないと思っています。

それとまほろば事業以外にもNPO法人南信州おひさま進歩が、グリーンサービサイジングで木質バイオマス事業にも着手したことに期待しています。ハウス栽培の農業では、冬場はどうしても石油に頼らなければならないので、進展を祈っています。

おひさまの3カ年事業を通して地域にどんな影響を与えましたか？

県全体でも環境事業としては「飯田ではおひさま」という声があがるほどで、環境NPO・事業者としては先駆的な団体として成長したのではないかと思います。県からも注目され、全国的にも有名になったと思いますし、本当に素晴らしいことだと思います。

視察の数も多く、そういった面では私もスタッフの方々のお手伝いできればといつも思っています。

最後におひさま進歩への今後の期待をお願いします。

今までは行政やいろんな方々のサポートがあってやってこれたという面もありますが、今後はサポートがなくても他から頼られるように独り立ちしてやっていけるような組織になってほしいです。今まで以上の活躍を期待したいと思います。

元飯田市環境協議会事務局 池戸通徳さん

まず、おひさま進歩エネルギーの成長についてどう思われますか？

行政としてまほろば事業の採択は良かったが、不安と心配の中でのスタートでした。中でも事業計画のなかに地域のエネルギー会社設立があったので、最初はそれをどのように作るかがとても大きな課題でした。それをNPO南信州おひさま進歩が母体となり事業会社をつくることができ、スタートできて良かったと思います。事業内容としては、市民出資が2億円集まったのも大きな成果ではないでしょうか。そしてNPOではパネルシアター、環境学習会、起業講座、バイオマス事業、有限会社ではメガソーラー事業、グリーン電力の販売やイベントへの提供など、事業が次々に誕生し、全国的なモデル事業として発展してこられたのは本当に素晴らしいことだと思います。そういう意味でも、まほろば事業はいいプロジェクトだったのではないのでしょうか。産みの苦しみは大きかったですが、3年間を振り返ってやっと軌道に乗ったかなと思います。

おひさまの3カ年事業を通して地域にどんな影響を与えましたか？

3年間の事業を通して幅広く影響を与えたと思います。まず環境事業、市民共同、さんぼちゃんと、認知度は高まったと思います。パネルシアターを通して幼児への環境教育をすることにより、子供から家庭へ、そして地域へと環境意識の波及があったように思えます。また一例ですが、おひさま発電所第一号の明星保育園が、ソーラーパネル設置前は環境を意識した経営はしていなかったが、発電所になってから環境を意識した保育園を目指すという方針に変わりました。そして市役所内部でも環境事業・市民共同に対する理解が増え、従来の縦割り体質から横割り事業を展開するということが行われ変化が起きた。またこれからの街づくりを目指す人々の視察が増え、その受け手の意識も徐々に変わっていきました。

今後に期待すること？



飯田市役所の剣玉名人 池戸さん

今のところ期待以上に働いていただいているというのが率直な感想です。今まで行政ができなかった部分での環境事業が大幅に進みました。今後も行政と協働して行ってほしいと思っています。また、地域での理解は大きくなっているのは事実ですが、経済的な部分まで理解し協力していただければまだ全域に及んでいない面があります。このような現実を踏まえて、地域の環境啓発を進めていただければと思っています。またパネルシアターのような子供たちへの環境教育にも期待しています。



第3回 出資者ツアーの案内

8月2日～5日に開催される日本最大級の人形劇の祭典「いいだ人形劇フェスタ2007」と併せて出資者ツアーを企画しております。内容はこのイベントに加えて3月にオープンしたばかりの川本喜八郎人形美術館、省エネ工事を行った飯田市美術博物館の見学といった、飯田でのアートを堪能できるツアーとなっております。是非ご参加ください。

人形劇フェスタとは？

日本最大の人形劇の祭典です。国内外から150を超える人形劇団が270にも及ぶ演目を上演します。しかもそのほとんどは、地域の集会所などで行われ、700円のワッペンで一部を除く公演をいくつでも観られます。市民と人形劇団が交流しながら、一緒に祭典を運営しています。第6回ふるさとイベント大賞優秀賞を受賞しました。URL：<http://www.iida-puppet.com/>

川本喜八郎さんとは？

川本 喜八郎（かわもと きはちろう、1925年1月11日生）は、世界的なアニメーション作家、人形作家。東京都出身。旧制横浜高等工業学校（現・横浜国立大学工学部）建築学科を卒業後、東宝撮影所美術部に勤務。フリーの作家となった後、数々の人形アニメーションの制作を手がけています。

1982年、NHK人形劇『三国志』の人形美術を担当した際には、子ども向けの番組ながら大人の鑑賞に十分に堪える作品を提供して好評を博しました。各賞受賞暦多数。

勲四等旭日小綬章（1995年受章）、日本アニメーション協会会長（1996年～）。

飯田市美術博物館とは？

飯田市出身の日本画家、菱田春草（ひしだしゅんそう）の作品をはじめ、郷土作家の作品を収蔵する美術館部と、動植物や歴史など、伊那谷の風土を紹介する博物館部があります。美術館受付への申し出が必要だが、敷地内にはほかに、民俗学者・柳田國男の書屋を移築した柳田國男館、地元出身の文学者・日夏耿之介（ひなつこうのすけ）の本宅を復元した、日夏耿之介記念館もあります。建物は京都駅ビル設計でも有名な、建築家・原広司が設計した建物です。



編集後記

昨年（2006年）の12月に行いました「伝承文化『遠山郷・霜月祭り』観覧“ねむい・けむい・さむい”」出資者ツアーについては、紙面の関係で掲載出来ませんでした。多くの方にご参加いただきましてありがとうございました。夜のお祭りを観るということで、その時は平気でも帰宅されてからお疲れが出たのではないのでしょうか。8月のツアーは、人形劇フェスタを主に観ていただくようになります。

人形劇というと「子供の観るもの」と思われるかもしれませんが、フェスタでは大人が十分楽しめる公演が沢山あります。特にプロの劇団による有料公演（ワッペンとは別に料金が必要）は、観ているうちに引き込まれて充実した気持ちになります。飯田市以外にお住まいの方はこんな機会はないと思いますので、是非ご参加いただきますよう、お待ちしております。